

○一般町民対象「まちを知って、まちをつくる 別海 “町” 学習会」

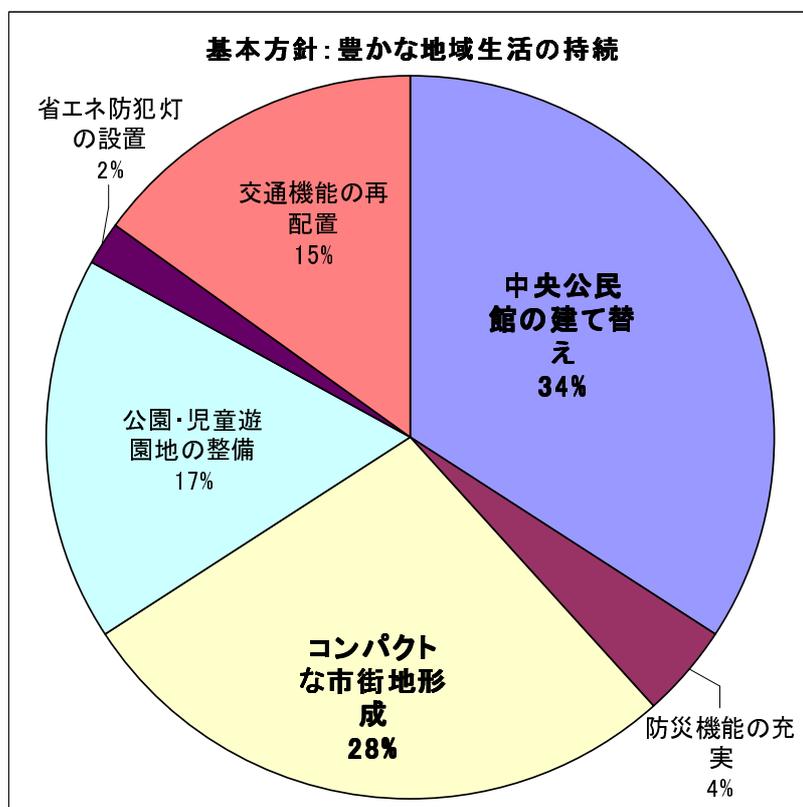
|      |  |
|------|--|
| 実施日時 | 平成26年2月24日(月) 午後7時から午後9時まで<br>4月11日(金) 午後7時から午後9時まで<br>4月25日(月) 午後7時から午後9時まで |
| 概要   | 計画説明、講演、グループワーク  |
| 参加者数 | 延べ88名  |
| 講師   | 北海道地域づくりアドバイザー 神長 敬 氏  |
| 会場   | 別海町役場庁舎 101・102会議室   |

【実施内容】

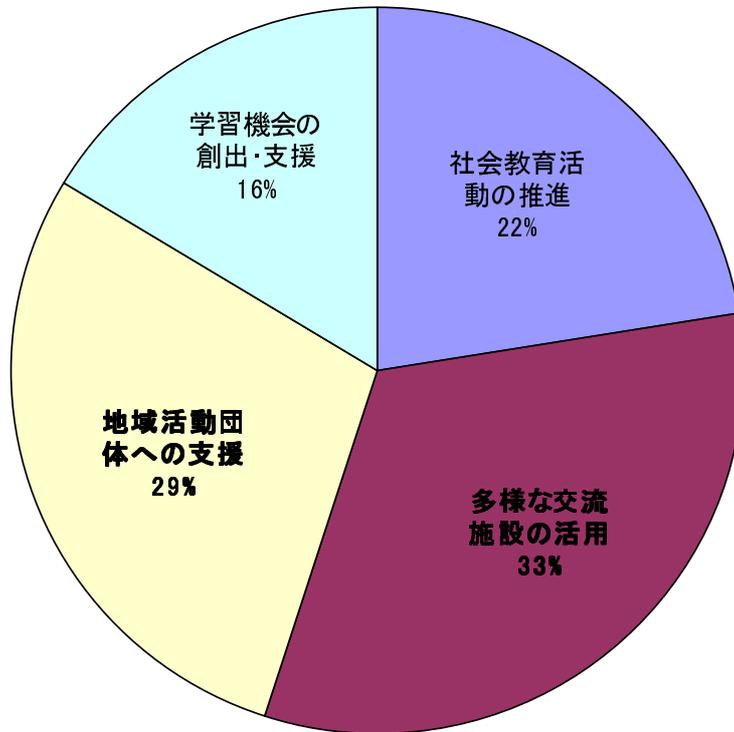
本計画原案の作成過程において明らかになった別海地区の現状と課題についての共有。講師によるまちづくり事例等の情報提供やグループワークを通して、町民ニーズの可視化と今後の目指すべき姿についての検討を行った。

特に2回目以降の学習会では、本計画における基本方針毎の市街地整備改善内容について、町民が考えるまちづくりへの興味関心・重要性について投票やグループワークを行うことで、可視化に取り組んだ。

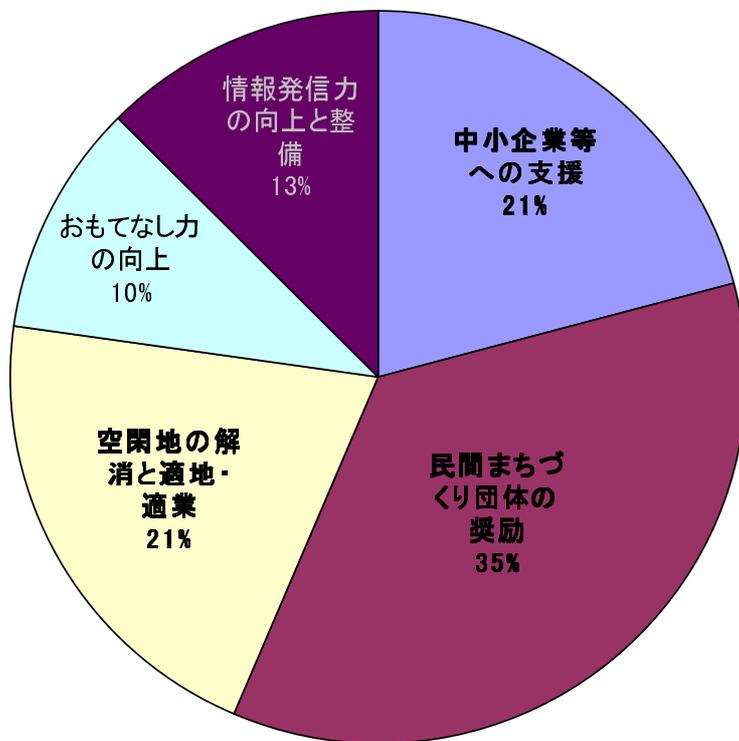
なお、2回目の学習会において取り組んだ町民の視点から見た重要項目の選定結果は、以下のとおりである。



基本方針：地域活動の主役をつくる



基本方針：魅力ある商業地域と環境の創出



続く、第3回目の学習会では、市街地活性化に必要な関係者(ステークホルダー)とその取り組みを考えるグループワークを実施。

グループワークでは、投票においても重要度の高かった公民館の建て替えについて、すべてのグループが主要懸案として選択し、公民館以外の様々な公共施設機能や来街要素を備えることで、そこに集う人によって活性化を目指すべきとの提案がなされた。

なお、同様の意見は、平成26年4月に公表されていた(仮称)生涯学習センター建設基本構想(以下、基本構想と表記 平成26年 (仮称)生涯学習センター建設基本構想策定委員会)においても見られる。

但し、基本構想の中では、公民館はあくまで部門として記され、他に図書館や社会福祉、観光案内部門などと併記されている。また、基本構想の冒頭では、関連する法律や計画等について示されているが、公民館の設置や運営について定義している社会教育法に関する引用がないことから、真に町民から求められている公共施設が社会教育施設としての公民館であるかについては、判断の難しい状況にある。

学習会終盤、参加者からは、中央公民館の建て替えも含め、今後の具体的な計画策定への参加意思について強く表明されたことから、今後も同様に町民参加の機会を設け、その内容が精査されることが望ましいと考える。

なお、計画に対する個別意見としては、以下のとおりである。また、本学習会は、平成25年度中の実施を予定していたが、荒天のため第2・3回目を平成26年4月に実施した。

- ・別海地区は、観光的要素に欠けるとの事務局による現状分析があった。しかしながら、別海町の豊かな自然は、滞在型の中長期宿泊による観光や移住に結びつく要素として捉えるべきではないか。
- ・計画において、学校教育を含め児童・生徒に係る部分の掲載がない。過去には、学校が中心となり地域がまとまっていた時代があった。今後のまちづくりの視点としても必要ではないか。